

令和4年度総合防災訓練の実施について

1 要旨・目的

多数の防災関係機関と連携して、大規模災害発生後を想定した訓練を広島市と共催で実施し、災害時における防災関係機関相互の緊密な協力体制を確立するとともに、災害応急対策の検証・確認を行い、今後の災害対応に万全を期す。

2 現状・背景

防災関係機関相互の連携強化の取組の一環として、災害対策基本法第48条の規定に基づき、毎年度、県内市町と共催で実施している。（令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。）

3 概要

（1）実施主体

広島県防災会議，広島市防災会議

（2）実施日時

令和4年8月30日（火）14時00分～16時00分

（3）場所

西風新都消防訓練場（広島市佐伯区）等

（4）実施内容

五日市断層を震源とする最大震度6強の地震の発生を想定し、次の訓練を実施する。

- 現地合同指揮所における関係機関相互の調整による捜索救助活動訓練
- 海上自衛隊の大型ヘリを使用した医療班の現地投入
- その他サブ訓練として、救援物資補給輸送拠点運営訓練，被災建築物応急危険度判定訓練を実施

（5）参加機関（予定）

陸上自衛隊，海上自衛隊，広島県警察本部，広島市消防局，日本赤十字社 他